

山崎優一氏、第12回原子衝突研究協会 若手奨励賞を受賞

2011年8月24日

8月18日(木)原子衝突研究協会第36回年会において、東北大学多元物質科学研究所の山崎 優一助教(元・KEK物質構造科学研究所)が若手奨励賞を受賞しました。同賞は、原子衝突および関連分野で優れた研究を行った若手研究者に対して贈られるものです。

受賞対象の研究は「分子座標系光電子角度分布による光イオン化ダイナミクスの研究」です。山崎氏は、KEK フォトンファクトリー(PF)のBL-2Cにて同時計測画像観測分光装置を用いて、空間に静止したファン・デル・ワールス分子や屈曲型分子などの光イオン化過程の研究を可能にすることに成功しました。例えば、ネオン原子(Ne)2つからなるNe₂分子の研究では、内殻空孔が一方の原子内に局在している様子を捉えるとともに、弱く結合した原子集合体で普遍的に起こる内殻空孔の種々の崩壊過程を明らかにしました。また、一個の水分子の中で、酸素原子から発した光電子波が二つの水素原子によって回折される現象を可視化することに成功し、X線自由電子レーザーを用いた超高速光電子回折法へ繋がる研究を展開しました。これらの研究成果はそれぞれ2008年8月28日および2009年4月16日のNews@KEKで紹介されています。

島田美帆氏 日本加速器学会賞奨励賞を受賞

2011年9月15日

去る8月2日、第8回日本加速器学会年会において第7回(2010年度)加速器学会賞授賞式が行われ、加速器研究施設第三系石橋拓弥氏、第七系島田美帆氏が奨励賞を受賞されました。式典後には受賞講演が行われ、島田氏が受賞対象となった研究について発表を行いました。

受賞者と受賞業績

■石橋 拓弥氏

「低エネルギー・大強度重イオン加速のための2ビーム型IH-RFQ線形加速器の研究開発」

■島田 美帆氏

「コヒーレントシンクロトロン放射に関するビーム力学的研究」

お願い

PFではホームページやPFニュース、Activity Report等でユーザーの皆様の受賞を紹介しております。学会や会議等で賞を受賞された時はどうぞまずはお使いのビームラインの担当者にご一報下さい。

NSRRCでのPF震災枠マシンタイム

総合研究大学院大学 呉 彦霖

3.11の東日本大震災では、KEK全体で被害を受け4~6月のPF共同利用実験も中止となりました。このような困難な時期に、国内外の多くの放射光施設から援助の申し出をいただき、国内外の放射光施設で多くの共同利用実験ができました。我々のグループもNSRRC(National Synchrotron Resource and Research Center, Taiwan)からマシンタイムを提供していただき、X線イメージングに関する実験を行うことができました。

NSRRCでののはじめの実験であり、私自身もいろいろと不安がありましたが、ビームライン担当者の湯茂竹先生から多大なサポートをいただき、無事に実験を進めることができました。また、7月29日には感謝の集いを開催でき、清華大学張石麟先生も参加されて日台の放射光研究に関して貴重な意見交換をすることができました。今回のPF震災枠マシンタイムは台湾科学界からの大きなプレゼントであったと感じています。今回の実験遂行に当たり、お世話になったPF関係者、NSRRC関係者に心よりお礼を申し上げます。

NSRRC
An appreciation Party from NSRRC users of Japan

2010/7/29

In March of 2011, the shocking earthquake, tsunami, and nuclear disaster occurred in Japan caused damage to Photon Factory (PF) which belongs to High Energy Accelerator Research Organization (KEK) in Tsukuba and the staff of KEK and forced the facility to stop the user program temporarily.

Based on the principle of mutual support and resource sharing, National Synchrotron Resource Center (NSRRC) arranged part of the scheduled machine maintenance period and arranged 7 weeks of Machine Time (MT) from July 27 - August 23 for the KEK users to continue their original scientific experiments.

In appreciation of all support and assistance from NSRRC, Prof. Masaru Iida from Tsinghua University of Science held an appreciation party and presented gifts to the Director (Principal, Prof. Shih-Lin Chang) in the afternoon of July 29 at NSRRC.

NSRRC research in the fields of life and scientific research worldwide. NSRRC has been devoted to promoting its Taiwan Resources at SPring-8 in Japan for more than ten years, and during this period, it has also established and has been maintaining significant cooperative relationship with the Japanese scientific community, in part of the international scientific community. NSRRC is more than willing to assist the Japanese scientific circles in going through the earthquake disaster.



NSRRCのHPにも今回のマシンタイムの記事が掲載された。



NSRRCのBL7Aで、実験システム立ち上げを行っている様子。

